

⑧ 小中学生の農林漁業体験学習等の拡大

小学生の花育教室（フラワーアレンジメント）

花の王国あいち県民運動実行委員会（事務局：園芸農産課）は「花いっぱい県民運動」を展開しています。その一環として、平成27年2月に清須市立古城小学校6年生67名と大口町立大口南小学校4年生48名を対象に、花育教室を開催しました。

花育教室とは、児童が生花のフラワーアレンジメントに取り組むことを通じて、花と緑に親しみ・育てる機会を創出することを目的としています。

当日は、名古屋生花小売商業協同組合から派遣された花育ティーチャーが指導に当たり、バラ、カーネーション、スイートピー、カスミソウなどを使ってフラワーアレンジメント作品を完成させ、保護者にプレゼントされました。



茎を切り分けて挿していきます



ラッピングもしました

児童からは「花をプレゼントすると気持ちが良くなる」「家でもやってみたい」との感想があり、一足早い春の訪れを感じさせる花に囲まれて、感動の波がうずまく素晴らしい体験教室となりました。

米作り体験で食育推進

食育活動の促進を目的とした国の交付金を活用して、瀬戸市アグリカルチャー推進協議会は小学校や親子を対象に、地域環境活性化協議会（尾張旭市）は保育園児、高校生を対象にした米作り体験を実施しました。

参加者は、生産者から稲作の作業について話を聞き、稲についての知識を深めるとともに、6月の田植体験では一株ずつ手で苗を植え、10月の稲刈体験では、鎌で稲を刈りました。収穫祭では収穫した米を調理して、炊きたてのご飯を参加者全員で味わいました。

子どもたちにとっては、米作り体験を通して食や農業を学ぶよい機会となりました。



園児と高校生で田植



みんなで稲刈り

⑨ 「いいともあいち運動」の推進等による地域の農林水産業や食育に対する理解促進

いいともあいち尾張地域サロン交流会を開催

愛知県では、農林水産業が果たしている役割を県民の方々に理解してもらい、積極的に応援していただく「いいともあいち運動」に取り組んでいます。

平成26年11月28日にはJA愛知西本店で、ネットワーク会員(生産者・農業関係団体・製造業者・商工会議所)と消費者が参加して、「いいともあいち尾張地域サロン交流会」を開催しました。

地産地消の講演の後、取組事例の発表があり、加工品試食会と意見交換も行うなど、生産者と消費者の交流を深めることができました。



サロン交流会



地産地消の加工品



「農家のお母さん」が地元農産物活用方法をPR

農村生活アドバイザー尾張支部一宮地区では、地元農産物をPRして消費拡大しようと、市広報で募集した消費者を対象に料理講習会を開催しました。

テーマを『地元の食材をいただく～農家のお母さんによる地産地消料理教室』とし、普段簡単に炊いて調理することの多い「赤飯」を蒸す技術を学んでもらうとともに、会員が生産するナス、イチジク、切り干し大根等を使った「ナスの和風あんかけミートローフ」「茶わん蒸し」「切り干し大根とツナの和え物」「イチジクゼリー」の計5品を20名(うち男性3名)の消費者と一緒に調理し、会食し、交流を深めました。また、一宮市の農業について理解を深めてもらうクイズも行いました。

参加者からは、「ナスの皮から煮出した色を利用したゼリーには驚いた」「切り干し大根をサラダで食べたのは初めてだがおいしかった」「一宮の農産物を買うように意識したいと思った」等の声が寄せられました。



地元農産物を活用した料理を伝授

⑩ 産地直売所等における生産者と消費者の交流活動の充実

道の駅瀬戸しなのの地元ブランド展開

道の駅瀬戸しなのは、平成 23 年 3 月に地元の期待を受けオープンし、平成 26 年度の利用者数は 70 万人を超える賑わいを見せています。

1 「せとまとくらぶ」の組織活動支援

オープン当初、直売所に出荷される地元産農産物の割合が少なく、出荷量増加が求められていました。そこで、年間を通して直売所で人気の高いトマトに着目し、平成 24 年 12 月に会員 8 名による研究会「せとまとくらぶ」を発足させました。

研究会では月 1 回程度講師を招いて、基本的な栽培管理を学び、各ほ場を巡回して意見交換を行う等、技術向上を図っています。また、道の駅でのせとまとくらぶ販売コーナーの設置や販売用シールの作成、規格外トマトのレストランでの活用等様々な販売促進活動も行っています。

平成 26 年度において会員のトマトは 6 月から 10 月までで 6,000 袋出荷されました。今後とも研究会活動の支援を続け、道の駅でのトマトの長期安定出荷と目玉商品化を目指していきます。

2 地元ブランドの開発及び消費者との交流

「瀬戸豚」は、地元の養豚農家が集まり、生産規模の拡大や衛生管理の充実を通して開発したブランドです。直売所においては、「瀬戸豚プレスハム」、「瀬戸豚ベーコン」、「瀬戸豚シューマイ」、「瀬戸豚コロッケ」などの各種産品を、地元ブランドコーナーに置き、“瀬戸豚ちゃん”として好評を博しています。

今後も様々な産品を開発するとともに、ホームページや「道の駅だより」による情報発信、軽トラ市やイベント開催による消費者との交流に力を入れていきます。当事務所もそのサポートに努めます。



道の駅瀬戸しなのの外観



せとまとくらぶ販売コーナー



瀬戸豚